

中央地区広報

虹

二月号

第62号

担当者

木下 陸

立教池袋高校二年

関東大会が開催されました！

第49回関東高等学校演劇研究大会（通称：関東大会）が開催されました！

関東大会は、1月25日・1月26日に静岡県の富士市文化会館ロゼシアター（南会場）、2月1日・2月2日に栃木県的那須塩原市黒磯文化会館（北会場）の二ヶ所にて行われ、中央地区から推薦された村田女子高校さんは南会場で、都立六本木高校さんは北会場で上演しました。各校の皆様、お疲れ様でした！

中央地区から関東大会に推薦された二校はともに、各会場で「優秀賞」を獲得しました。おめでとうございます。改めて、関係者の皆様はお疲れ様でした。

なお、第60回全国高等学校演劇研究大会に推薦された学校は、南会場で最優秀賞を獲得した山梨県立甲府南高等学校さん、北会場で最優秀賞を獲得した群馬県立桐生高等学校さん、そして同じく北会場で、優秀賞を受賞した長野県松川高等学校さんの以上三校でした。おめでとうございます！

第60回全国高等学校演劇大会は2014年7月28〜30日に、茨城県のひたちなか市文化会館にて開催される予定です。また、第60回全国高等学校演劇大会に推薦された三校以外で、関東大会の南会場・北会場から一校ずつ、計二校が第8回春季全国高等学校演劇研究大会に推薦されます。この第8回春季全国高等学校演劇研究大会への推薦校は、南会場で優秀賞を受賞した静岡県立富士高等学校さん、北会場で優秀賞と創作脚本賞を受賞した長野県丸子修学館高等学校です。会場は岩手県の北上市文化交流センターで、2014年3月28〜30日に開催されます。

関東大会結果

南会場

● 最優秀賞

山梨県立甲府南高等学校

『マナちゃんの真夜中の約束・イン・ブルー』 佐藤晴香・中村勉 作（創作）

● 優秀賞（上演順）

東京都立駒場高等学校

『さようなら、解散。』 佐藤小春 作（生徒創作）

村田女子高等学校

『紺碧の空高く』 平川奈奈 作（生徒創作）

茨城県立東海高等学校

『To be continued!』 高橋綾子 作（顧問創作）

静岡県立富士高等学校

『寿歌』 北村想 作（既成）

● 優良賞（上演順）

静岡県立小笠高等学校

『School・Shot〜能楽ver.』 大庭久幸 作（顧問創作）

茨城県立石岡第一高等学校

『Cute!』 関 勝一 作（顧問創作）

浜松海の星高等学校

『うさぎパン』 瀧羽麻子 作 杉山恵 脚色（既成）

神奈川県立大和高等学校

『けさらん、ぱさらん。』 中山周治 作（顧問創作）

山梨県立甲府城西高等学校

『アナウンス』 萩野亜蘭 作 甲府城西高校演劇部 潤色（創作）

千葉県立松戸高等学校

『サチとヒカリ』 越智優 作 (既成)

山手学院高等学校

『わが家のあかし』 中原久典 作 (既成)

専修大学松戸高等学校

『人生ゲーム』 浅田太郎とおちやめな専松演劇部 作 (創作)

● 創作脚本賞

山梨県立甲府南高等学校

『マナちゃんの真夜中の約束・イン・ブルー』 佐藤晴香・中村勉 作 (創作)

※太字は東京都代表

北会場

● 最優秀賞

群馬県立桐生高等学校

『通勤電車のドア越しに』 金井達 作 桐生高校演劇部 潤色 (既成)

● 優秀賞 (上演順)

長野県丸子修学館高等学校

『明日があるさ』 井上光晴 原作 羽場小百合+丸子修学館演劇部 脚色 (創作)

栃木県立栃木高等学校

『解放区』 角海紀雄・栃木高男 作 (創作)

東京都立六本木高等学校

『真・似・禁』 佃典彦 作 六本木高校演劇部 潤色 (既成)
長野県松川高等学校

『エリック・カール原作、ゆあさふみえ訳より ちいさいタネ』 黒瀬貴之 作

松川高校演劇部 潤色 (既成)

● 優良賞 (上演順)

埼玉県立芸術総合高等学校

『前川知大短編集「図書館の人生」から』ゴッド・セーブ・ザ・クイーン／賽の河原で踊りまくる亡霊』 前川知大 作 (既成)

新潟県立見附高等学校

『夕暮れの上の月』 田村和也 作 (創作)

新潟県立新潟南高等学校

『教室の女王』 引場 道太と南高演劇部 作 (創作)

佐野日本大学高等学校

『さよなら小宮くん』 越智優 作 (既成)

作新学院高等学校

『相対性持論』 想いは時空を超えて』 石田恭子 作 (創作)

埼玉県立秩父農工科学高等学校

『ガンバグ』 コイケユタカ 作 (創作)

高崎商科大学附属高等学校

『雰囲気のある死体』 別役実 作 (既成)

● 創作脚本賞

長野県丸子修学館高等学校

『明日があるさ』 井上光晴 原作 羽場小百合+丸子修学館演劇部 脚色 (創作)

※太字は東京都代表

関東大会の関係者の皆様、ありがとうございました！

バレンタイン公演が開催されました

2月9日(日)、都立新宿高校視聴覚室にてバレンタイン公演(冬フェス)が開催されました!バレンタイン公演では計12校がそれぞれ20分以内で上演をしました。バレンタインにちなんだものやコメディなど、様々な種類の劇が上演され、とても楽しい公演であったと思います。

出場校の皆さんはお疲れ様でした。そして、会場を提供して下さいました都立新宿高校さん、ありがとうございます!!

中央地区学年末発表会

三月下旬には中央地区学年末発表会(中央合同)が開催されます!高校3年生の卒業公演も行われる予定です。

日程…2014年3月31日

会場…舞台芸術学院

※要項は近く発送します。

広報委員企画(学校紹介)

新・広報委員長によって復活したこの「虹」ですが、二発目の広報委員企画はなんと二校も紹介しちやいます!!

まず一校目は、「虹」二月号を担当させていただきました、わたくし木下陸が通う私立教池袋高校。部長の大木宏祐さんがインタビューに受けてくれました。そして二校目が、新・広報委員長の相原祐伽さんが部長を務めている都立千早高校さんです。インタビューにに応じてくださったのは相原祐伽さんと吉田恵さんのお二人です。

立教池袋高校

Q. 立教池袋の代表作品や、大切な思い出とはなんですか?

僕の代が中学一年生の時(2009年)に、第9回全国中学校総合文化祭で上演した『PE!PE!PE!PENGLINS!』という劇がとても思い出深いです。上演した当時は、OBが僕たちのために執筆してくれた台本だったのですが、今となつては既成脚本として扱われることがあるらしいので感慨深いものがあります。

Q. 立教池袋らしさはなんだと思いますか?

既成脚本を全く扱わないところです。今後どうなるかはまだわかりませんが、今まで僕たちはOBや在校生が書いた創作脚本しか扱ったことがなく、演劇に「オリジナル性」を求めてきました。あと、劇中にタップダンスを取り入れることがあるのも、立教池袋らしさかと思えます。

Q. 稽古場はどんな雰囲気?

明るくて、楽しくて、生き生きしていて、とにかくワチャワチャした雰囲気です。稽古や練習から大幅にそれて、長い間皆でお話だけして、稽古が終わってしまうこともたまにあります。

Q. 男子しかいない演劇部にメリット・デメリットを感じますか?

作品の幅が限られてしまうことがデメリットだと思います。学園モノや恋愛モノとかをやってみたいとは思いますが、なかなかできないことが不自由ですね。でも、男が女役を演じる楽しさはあるかもしれません(笑)

Q. 立教池袋の〇〇はどこにも負けない!

タップダンスです!!

Q. 部活全体を導くときに、大変だなあと思う時はありますか?

正直に言ってしまうと、全部です。なにしろ稽古中に脱線してしまうことが多々あるので、本当に大変です。

Q. 演劇部に入ってよかったと思える瞬間

演劇部員の笑顔を見るときですね。部員全員が笑顔でいられるような、楽しくて明るい部活に入れたということはとても幸せなことだと思います。あと

は演技をしているときです。

Q. 今後の目標をズバリ

高校の方では、中央地区から都大会に進出したいです！そして、中学生の育成をきちんと怠らずにしていって、立教池袋中学校の方でもしっかり成績を残していきたいです。

Q. 最後に、立教池袋を一言で表すと

一言では言い表せないくらいゴチャゴチャで多様な感じ、です！

都立千早高校

Q. 千早の代表作品や、大切な思い出とはなんですか？

一度扱った作品は、基本的にはもうやらないので、千早の代表作品といえる劇はないかもしれませんが。演劇や部員などとの、様々な「出会い」一つ一つが全て大切です。

Q. 千早らしさはなんだと思いますか？

何事も限界まで挑戦することです。

Q. 稽古場はどんな雰囲気？

休憩時間がかく少なくて、全員が常に全力疾走です。楽しくて疲れま

Q. 女子が多い演劇部にメリット・デメリットを感じますか？

男子が少ないからやれる作品に限られる、とは思いませんが、多少は脚本が扱いづらくなったりします。それに体力の差が激しかったり。声にま

Q. 千早の〇〇はどこにも負けない！

演出家の怖さと休憩時間の短さはどこにも負けないです(笑)

Q. 部活全体を導くときに、大変だなあと思う時はありますか？

あまり、部活全体を「導く」ということはしないのですが、部員全員、我が強くてそれぞれがしっかりと各々の意見を持っているので、方向性の違いが

あるときに、それらをまとめるのが大変です。いいことですけどね。

Q. 演劇部に入ってよかったと思える瞬間

照明に当たって、「今演劇してる」って感じられる瞬間です。あと、演劇を通じて人とのつながりが増えたことは、演劇部に入ってよかったと思えます。

Q. 今後の目標をズバリ

「限界突破」です。

Q. 最後に、千早を一言で表すと

漢字一文字で「楽」です。「楽」ではないけど「楽」しむ、ということを目標に、私たちは常に全力疾走全力投球でいます。限界まで突き詰めて、それを突破する姿勢でいるので、自分自身の限界を感じたことがない人は是非千早演劇部に来てほしいです。

以上です。今後も活躍を期待したいですね！

編集後記

はじめまして！新しく中央地区広報委員になりました、私立立教池袋高校2年生の木下陸(きのしたりく)です。「虹」二月号、いかがでしたでしょうか。

わたくしごとですが僕は、一演劇部員として中央地区に携わった経験が極端に少ないのに、本当に広報委員になってもいいのか、本当に「虹」を担当してもいいのか、本当に二月号を執筆してもいいのか、などといった、不安や心配をたくさん抱えておりました。しかし、そんな不安や心配全てを拭い去るかのように、僕は色んな人に支えられ、助けられ、救われて、こうして「虹」二月号を書き終えることができました。たくさん「ありがとう」や素敵な人間関係をもたらしてくれたこの中央地区は本当に素晴らしいですね！！今後も是非この「虹」、そして中央地区をよろしくお願いいたします！！

次号予告

次回三月号では「春フェス」、「おすすめ劇団・作品紹介」、「中央地区学校紹介」などを掲載する予定です！お楽しみに！